

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
110012017	英会話 English Conversation	西川 裕子			1	選択	1後期

科目の概要

「英会話」は、1年生後期に開講されるスキルリテラシー・教養科目の一つで、1～2年にある外国語科目（選択）のうちの一つです。DP5にある建学の精神・社会人基礎力・pisa型学力・直観力・自然体を修得しながら、DP2にあるように「社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能を身につけ」た人材になることを目指すための科目の一つでもあります。将来は、多文化共生社会のなか、衣・食・住に関する活動を通して、外国人と共同で仕事をしたり、外国人子弟と関わったりすることがあると思います。その時に慌てずに日本語以外の言語でもコミュニケーションが取れるように、聞く・読む・話す・書くの4技能を通して、日常の場面でよく使われる英語表現を学びます。学修を通して、pisa型学力の3つの力を修得します。後期は、よりアウトプット（英語を使った表現活動）を重視していきます。

学修内容	到達目標
① 身近な話題を扱った会話文を理解する。 ② 身近な英語表現を学ぶ。 ③ 会話に使われている文法を理解する。 ④ 英語を利用する場面に突然に出会っても、慌てないで対処する方法を学ぶ。 ⑤ 学修を通して、自分の課題に気づく。	① 身近な話題を扱った会話文の内容と表現を理解できる。 ② 身近な英語表現を使うことができる。 ③ 会話に使われている文法が理解できる。 ④ 英語を利用する場面に突然に出会っても、慌てないで対処できるようになる。 ⑤ 学修を通して、自分の課題に気づき、解決に向かって動くことができるようになる。（課題解決）

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	積極的に応答・発表ができる。
	働きかけ力	
	実行力	授業の予習・復習や課題を着実にこなすことができる。課題を期限内に提出することができる。
考え抜く力	課題発見力	英語でコミュニケーションを取るのにどのような力が必要か、認識することができる。復習を通して、改善点に気づくことができる。そして、解決に向かって動くことができる。
	計画力	
	創造力	- 日本語の枠を越えて、発想の転換をすることができる。 - 相互理解のためにできることはないか、考えることができる。
チームで働く力	発信力	聞き手を意識して、相手の目を見て（アイコンタクト）、はっきりと話すことができる。
	傾聴力	集中力を高めて、他者の説明・発表を聴き、他者の説明・発表から学ぶことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	- 時間を守ることができる。 - 私語を慎むなど、授業時の基本的ルールを守ることができる。 - 課題の提出期限を守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

ピーター・ビンセント、中里菜穂子、アラン・メドウズ著『Speaking of People（人とつながる英語コミュニケーション）』南雲堂、2021年。2,300円（税別）
 ＊Google Classroomなども適宜利用します。
 ＊一橋大学語学ライブラリー「https://www.rdche.hit-u.ac.jp/11/hint/en_rcmd_sites.html」なども利用します。

他科目との関連、資格との関連

「英会話」は1年前期に開講されていた「スキルリテラシー・教養科目」の「英語」で身につけた英語力を基礎に、発信力をさらに高める科目です。また、他の言語も学びたい場合は、2年前期に、同じく「スキルリテラシー・教養科目」の「中国語」、2年生後期に「ハングル」もあります。

学修上の助言	受講生とのルール
英語学習は黙読で終わらせず、音読、聴き取り、暗唱を行ってください。特に音読はとても大切です。大きな声で発音してみましょう。	- 授業に積極的に参加してください。 20分を超える不在（遅刻・早退・中抜け）は欠席扱いにします。 - 辞書（高校時代のもので良い）を持参してください。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	40	①	✓			筆記試験によって、授業で扱った表現と文法事項を理解し、正確に書けるかどうかを評価します。 *筆記試験の中での割合 知識の獲得（英語の文法、単語、実用表現などの基礎知識）：80% 知識の活用と解決（英作文「文法的に正確な文を書くことができる。論理的な英文を構成することができる。問題に沿った解答を導き出すことができる。」）：20% *筆記試験としては、pisa型学力の①②③「知識・情報等の資源を獲得する力、活用する力、ならびに、活用して解決する力」が発揮できているかどうかを評価できるものを出します。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
	平常評価	小テスト	20	①	✓			小テストによって、平常の力を評価します。（テキストの内容から、文法や単語、英語表現などを出題します。）基本的には、知識の獲得状況を見ます。 *毎週のテストの点数の平均と、それを中心に、行い方、復習の程度なども加味します。 *小テストとしては、pisa型学力の①②③「知識・情報等の資源を獲得する力、活用する力、ならびに、活用して解決する力」が発揮できているかどうかを評価できるものを出します。 *小テストの出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝えます。 （獲得・活用）知識を獲得し、知識を使って問題に正しく解答できる。（70%） （解決）間違えた個所と未修得の知識を認識してきちんと復習し、次回は正しく運用できるようにする。（30%）
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
		レポート	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①	✓			・授業中の応答・発表の数と質（正確さ、適切な声の大きさ、発音、抑揚）を評価します。 ・また、宿題、課題などにより、平常の努力を評価します。毎週のクラスルームや紙の宿題の提出状況を中心に、課題の行い方、復習の程度、知識の定着度なども加味します。Googleクラスルーム上や紙で出された課題を、期限内に提出しましょう。内容を修得できたかは、小テストおよび期末テストで確認します。 *発表、宿題、課題としては、pisa型学力の①②③「知識・情報等の資源を獲得する力、活用する力、ならびに、活用して解決する力」が発揮できているかどうかを評価できるものを出します。 （獲得）知識を獲得する。（40点） （活用）知識を駆使して、発表や応答、課題を行うことができる。（40点） （解決）間違えた個所と未修得の知識を認識してきちんと復習し、次回は正しく運用できるようにする。（20点）
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			主体性：積極的に応答・発表ができる。 実行力：授業の予習・復習や課題を着実にこなすことができる。課題を期限内に提出することができる。 課題発見力：英語でコミュニケーションを取るのにどのような力が必要か、認識することができる。復習をして、改善点に気づくことができる。そして、解決に向かって動くことができる。 創造力：・日本語の枠を越えて、発想の転換をすることができる。 ・相互理解のためにできることはないか、考えることができる。 発信力：聞き手を意識して、相手の目を見て、はっきりと話すことができる。 傾聴力：集中力を高めて、他者の説明や発表を聴き、他者の説明・発表から学ぶことができる。 規律性：・時間を守ることができる。 ・私語を慎むなど、授業時の基本的ルールを守ることができる。 ・課題の提出期限を守ることができる。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S（秀）：筆記試験の点数が90点以上である。小テストの平均点が90点以上である。成果発表をしっかりと行い、内容も優れている。 A（優）：筆記試験の点数が80点以上である。小テストの平均点が80点以上である。成果発表をしっかりと行い、内容も優れている。	B（良）：筆記試験の点数が70点以上である。小テストの平均点が70点以上である。成果発表を行い、しっかりと形になっている。 C（可）：筆記試験の点数が60点以上である。小テストの平均点が60点以上である。成果発表を行い、形になっている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・シラバスを確認する。 ・Googleクラスルームの使い方を学ぶ。 ・音声のダウンロードの仕方を確認する。 ・簡単な自己紹介を考える。 ・Unit 7 (家族について話す)のThere is/are～.の表現を確認する。	・講義・演習 (課題を行う。問題を解く。本文を読む練習をする。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。 ・Googleクラスルームの利用	・ガイダンスをきちんと理解することができる。 ・内容をしっかりと理解して、課題に真面目に取り組むことができる。 ・簡単な自己紹介を考えることができる。 ・There is/are～.の表現を理解することができる。	(予習) テキストを手に入れて、Unit 7を中心に、ざっと目を通しておく。 (復習) ・Googleクラスルームの使い方を復習し、音声ダウンロードする。 ・授業で習ったことを見直して、表現と単語をしっかりと覚える。音源を聞く。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	・Unit 7 (家族について話す)を学習し、内容を理解する。(家族の言い方や単語、助動詞の使い方を確認し、リスニング、ワークなどを行う。)	・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習や会話練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループディスカッション、発表を行う。 ・Googleクラスルームの利用	・内容をしっかりと理解して、課題に真面目に取り組むことができる。 ・小テストなどで60点以上をとることができる。	(予習) Unit 7の予習をする。音源を聞いておく。発音練習をしておく。 (復習) ・授業で習ったことを見直して、表現と単語をしっかりと覚える。音源を聞く。 ・小テスト(Unit 7分)に備える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	・Unit 7について的小テストを行う。 ・Unit 8 (日常について話す)を学習し、内容を理解する。(頻度を表す副詞を確認し、リスニング、ワークなどを行う。)	・Unit 7で学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習や会話練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループディスカッション、発表を行う。 ・Googleクラスルームの利用	・内容をしっかりと理解して、課題に真面目に取り組むことができる。 ・小テストなどで60点以上をとることができる。	(予習) ・Unit 8の予習をする。音源を聞いておく。発音練習をしておく。 (復習) ・授業で習ったことを見直して、表現と単語をしっかりと覚える。音源を聞く。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	Unit 8 (日常について話す)を学習し、内容を理解する。(頻度を表す副詞を確認し、リスニング、ワークなどを行う。)	・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習や会話練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループディスカッション、発表を行う。 ・Googleクラスルームの利用	・内容をしっかりと理解して、課題に真面目に取り組むことができる。 ・小テストなどで60点以上をとることができる。	(予習) Unit 8の予習をする。音源を聞いておく。発音練習をしておく。 (復習) ・授業で習ったことを見直して、表現と単語をしっかりと覚える。音源を聞く。 ・小テスト(Unit 8分)に備える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	・Unit 8について的小テストを行う。 ・Unit 9 (今の気分について話す)を学習し、内容を理解する。(相手の気持ちを聞く表現、現在分詞や過去分詞の用法を確認し、リスニング、ワークなどを行う。)	・Unit 8で学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習や会話練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループディスカッション、発表を行う。 ・Googleクラスルームの利用	・内容をしっかりと理解して、課題に真面目に取り組むことができる。 ・小テストなどで60点以上をとることができる。	(予習) ・Unit 9の予習をする。音源を聞いておく。発音練習をしておく。 (復習) ・授業で習ったことを見直して、表現と単語をしっかりと覚える。音源を聞く。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	Unit 9 (今の気分について話す)を学習し、内容を理解する。(感情表現、否定疑問文への答え方、擬態語を確認し、リスニング、ワークなどを行う。)	・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習や会話練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループディスカッション、発表を行う。 ・Googleクラスルームの利用	・内容をしっかりと理解して、課題に真面目に取り組むことができる。 ・小テストなどで60点以上をとることができる。	(予習) Unit 9の予習をする。音源を聞いておく。発音練習をしておく。 (復習) ・授業で習ったことを見直して、表現と単語をしっかりと覚える。音源を聞く。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	・オンデマンドでの実施 ・Review 7-9を学習し、内容を理解する。(Unit 7-9で学習した単語や文法、表現を確認しながら、リスニング、ワークなどを行う。)	・オンデマンドでの実施 ・ビデオにてReview 7-9の復習 ・解説を聞き、課題を行って提出する。後日フィードバックを受けて復習する。(解説を聞き、読む練習をする。単語を覚える。フィードバックによって、できなかった部分を認識し、復習につなげる。) ・課題やビデオはGoogleクラスルーム上で出す。	・内容をしっかりと理解して、課題に真面目に取り組むことができる。 ・クラスルームにあるオンデマンド用の課題をしっかりと行って、期限内に提出することができる。	(予習) ・Review 7-9の予習をする。音源を聞いておく。発音練習をしておく。 (復習) ・授業で習ったことを見直して、表現と単語をしっかりと覚える。音源を聞く。 ・小テスト(Unit 9分)に備える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	・Unit 9について的小テストを行う。 ・Unit 10 (思い出を話す)を学習し、内容を理解する。(過去形を確認し、リスニング、ワークなどを行う。)	・Unit 9で学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習や会話練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループディスカッション、発表を行う。 ・Googleクラスルームの利用	・内容をしっかりと理解して、課題に真面目に取り組むことができる。 ・過去形を利用した表現について理解することができる。 ・過去形を運用することができる。 ・小テストなどで60点以上をとることができる。	(予習) Unit 10の予習をする。音源を聞いておく。発音練習をしておく。 (復習) ・授業で習ったことを見直して、表現と単語をしっかりと覚える。音源を聞く。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	Unit 10（思い出を話す）を学習し、内容を理解する。（現在完了形を確認し、リスニング、ワークなどを行う。）	・講義・演習（問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習や会話練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかり認識し、復習につなげる。） ・必要に応じてグループディスカッション、発表を行う。 ・Googleクラスルームの利用	・内容をしっかり理解して、課題に真面目に取り組むことができる。 ・小テストなどで60点以上をとることができる。	（予習）・Unit 10の予習をする。音源を聞いておく。発音練習をしておく。 （復習）・授業で習ったことを見直して、表現と単語をしっかりと覚える。音源を聞く。 ・小テスト（Unit 10分）に備える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	・Unit 10についての小テストを行う。 ・Unit 11（健康状態について表現する）を学習し、内容を理解する。（病気に関する単語、身体部位を表す単語を確認し、リスニング、ワークなどを行う。）	・Unit 10で学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習（問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習や会話練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかり認識し、復習につなげる。） ・必要に応じてグループディスカッション、発表を行う。 ・Googleクラスルームの利用	・内容をしっかり理解して、課題に真面目に取り組むことができる。 ・小テストなどで60点以上をとることができる。	（予習）Unit 11の予習をする。音源を聞いておく。発音練習をしておく。 （復習）・授業で習ったことを見直して、表現と単語をしっかりと覚える。音源を聞く。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	Unit 11（健康状態について表現する）を学習し、内容を理解する。（主な動詞、助動詞を確認し、リスニング、ワークなどを行う。）	・講義・演習（問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習や会話練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかり認識し、復習につなげる。） ・必要に応じてグループディスカッション、発表を行う。 ・Googleクラスルームの利用	・内容をしっかり理解して、課題に真面目に取り組むことができる。 ・小テストなどで60点以上をとることができる。	（予習）Unit 11の予習をする。音源を聞いておく。事前課題を解いておく。 （復習）・授業で習ったことを見直して、表現と単語をしっかりと覚える。音源を聞く。 ・小テスト（Unit 11分）に備える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	・Unit 11で学習したことの小テストを行う。 ・Unit 12（否定的な表現、肯定的な表現）を学習し、内容を理解する。（動名詞と不定詞を確認し、リスニング、ワークなどを行う。）	・Unit 11で学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習（問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習や会話練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかり認識し、復習につなげる。） ・必要に応じてグループディスカッション、発表を行う。 ・Googleクラスルームの利用	・内容をしっかり理解して、課題に真面目に取り組むことができる。 ・小テストなどで60点以上をとることができる。	（予習）Unit 12の予習をする。音源を聞いておく。発音練習をしておく。 （復習）・授業で習ったことを見直して、表現と単語をしっかりと覚える。音源を聞く。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	Unit 12（否定的な表現、肯定的な表現）を学習し、内容を理解する。（動名詞と不定詞を確認し、リスニング、ワークなどを行う。）	・講義・演習（問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習や会話練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかり認識し、復習につなげる。） ・必要に応じてグループディスカッション、発表を行う。 ・Googleクラスルームの利用	・内容をしっかり理解して、課題に真面目に取り組むことができる。 ・小テストなどで60点以上をとることができる。	（予習）・Unit 12の部分の予習をする。音源を聞いておく。発音練習をしておく。 （復習）・授業で習ったことを見直して、表現と単語をしっかりと覚える。音源を聞く。 ・小テスト（Unit 12分）に備える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	・Unit 12について的小テストを行う。 ・Review 10-12を学習し、内容を理解する。（Unit 10-12の内容を確認し、リスニング、ワークなどを行う。）	・Unit 12で学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習（問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習や会話練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかり認識し、復習につなげる。） ・必要に応じてグループディスカッション、発表を行う。 ・Googleクラスルームの利用	・内容をしっかり理解して、課題に真面目に取り組むことができる。 ・小テストなどで60点以上をとることができる。	（予習）・Review 10-12の予習をする。音源を聞いておく。発音練習をしておく。 （復習）・授業で習ったことを見直して、表現と単語をしっかりと覚える。音源を聞く。 ・Unit 10-12を復習し、小テストに備える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	・まとめを行う。 ・Unit 10-12について的小テストを行う。 ・Unit 7-12を復習する。	・Unit 10-12で学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習（問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかり認識し、復習につなげる。） ・必要に応じてグループディスカッション、発表を行う。 ・Googleクラスルームの活用	・内容をしっかり理解して、課題に真面目に取り組むことができる。 ・小テストなどで60点以上をとることができる。	（予習）・今まで学習してきた内容に目を通し、Googleクラスルームなどの問題に答える。 （復習）・今までの授業で習ってきたことを見直して、表現と単語をしっかりと覚える。音源を聞く。 ・学期末試験に備える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力